

迎春
1985元旦



広報

ひがしゆり

町民の皆さん、あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、心機一転、旧来の情性に翻弄されないように、心を引き締めて町政にあたることを誓いました。

「一日の計は晨（朝）にあり、一年の計は春（元旦）にあり、一生の計は勤にあり、一家の計は身（和）にあり」と言われますが、私どもはこの四計の中でも、一年の計を最も尊重してまいりました。町民の皆さん新しい年を迎えられ、「一年の計」をどのように立てられたでしょうか。今年こそは、それぞれの計を立てられたに違いありません。

昨年は、「東由利町躍進の基礎の年に」と念願し、新しい町づくりの基礎として、企業誘致の実現

に全力を傾注して、これを果たすことができました。また、町制施行10周年、町村合併30年という意義深い年でもありましたので、この記念すべき年にあたり、「町民憲章」を制定して、町民の皆さんとともに歩む町政の基本を示し、新しい躍進の町づくりの基礎を固めてまいりました。

108の煩悩を吹き払う除夜の鐘の音とともに、新しい年に入りました。まさに、「去年今年貫く棒の如きもの（虚子）」であり、「若水や流るるうちに去年ことし（千代女）」であります。年の流れは、悠久の時の流れにしたがい推し進み、21世紀に向けた新しい町づく

ております。

108の煩悩を吹き払う除夜の鐘の音とともに、新しい年に入りました。まさに、「去年今年貫く棒の如きもの（虚子）」であり、「若水や流るるうちに去年ことし（千代女）」であります。年の流れは、悠久の時の流れにしたがい推し進み、21世紀に向けた新しい町づく

したが、その講話の基調は「これからは農業をどうするかという時代ではなく、農村をどうするか、どう活かすかの時代である」と論じ、その具体例として大分県下の農村の実例をとりあげ、農村地帯に先端産業関連の企業を誘致して、農業と企業が共存し、真に農工一体の町づくりがはじまっているこ

新しい町づくりの出立にあたり

企業誘致から老人福祉へ

町長 畠山 亮二郎

りも、この流れのままに、前年に引き続き一時の猶予もなく進められるべきものと存じます。

昨年、農林水産省は、「我が国経済社会における農業・農村の役割と展開方向——21世紀に向けて——」の考え方をまとめました。

この中で特に注目すべきことは、きたるべき21世紀の農業・農村の役割について、従来の食糧の安全供給という考え方にとどまらず、高齢化、地方定住という情勢に対応し、就業と居住の場の提供を強く打ち出していることです。

そして、「農業の体質強化」の中で、高齢者農家と第2種兼業農家の活動の場の創出確保を掲げ、「農山村社会の活性化」のために安定的な就業機会の確保を前面に打ち出していることが特徴です。

昨年10月、農政のベテランで名実ともに大御所である、梶木又三先生（参院議員）の講話に接しま

とを紹介し、これが21世紀に向けた新しい農村のあり方であることとを力説しておられました。

地形・環境的に農業立町の町として生きなければならぬわが町の現実と農村の使命として、食糧の安定供給を図り、農業で自活できる農家の育成に努めるため、町では今後とも出羽丘陵開発事業などの農業施策を、積極的に進めてまいらる所存です。

しかしながら農業のみで自立できない農家もあり、就労の場の確保を図ることが一方の課題であり、幸い「秋田信英（株）」の進出により、その一端を補うことができました。

これまで農業は、限りある耕地が生活の基盤となっていました。就労の場の確保により、農村社会の活性化が進み、農工一体の町づくりの展望が開けつつあり、今後とも努力を惜しまない覚悟です。

誘致企業の操業は、農家子弟の

就業確保、出稼者約100名の減少など、顕著な効果が現われてきており、今後に期待しているところです。今年、農村の高齢化社会への対応の重要な行政施策として、「特別養護老人ホーム」の建設に全力をつくす所存です。目下のところ県内20数町村が設置を要望するなかで、やっとメドがつかしました。その外出羽丘陵開発事業の推進、中学校給食の実現、国道107号線宿工区の新設、町道坪倉線の改良、林道矢走線の新設等々、実施しなければならぬ各種事業が山積しております。

これらの諸事業に意欲的に取り組み、町民各位のお力添えを得ながら、着実に実行してまいりたいと存じます。

今年は丑年

今年は丑年、あなたは牛とどうとどんな連想をしますか。のんびり、のっそり、それとも厚いビフテキ、牛肉の貿易自由化問題、と思いはさまざまでしょう。

近ごろ若い人のマスコットとして、なぜか白と黒の牛が流行しています。牛が役牛として田畑を耕しているのを見たことのない若者たちには、牧場でのんびりと暮している



新年とは何んためたい言葉だろう。幾度となく繰りかえした言葉なのに、人々は身も心も新たに「新年」を迎える。去年が充実された人も、不本意の人も各々が新しい年にむけて、去年にまさる充実を胸一杯に誓う。私もそうした新鮮な気持ちで新年のごあいさつを申しあげます。

まず去年の議会改選で18人の議員が就任した訳ですが、経験豊かな議員に6人の新進気鋭が加わったすばらしい議会となりました。「是は是、非は非」を基本にして、



新年おめでとうございます。

昭和60年の新春を迎えるにあたり、本年は更に明るい良い年になりますよう、皆さんとともに心から祈念いたします。

昨年は、本町誕生10周年を迎えた、大変意義深い年であり、盛大な記念式典が挙行されて、本町の飛躍的發展を、心からお祝いました。教育の面においても、統合第3の小学校である高瀬小学校が、4月からめでたく誕生した年でもありました。長い間の大課題でありました危険校舎の解消と完全給食の実施が実現したことに喜ばしい意義深い年でありました。全町の子どもたちが、近代的設備の整ったそれぞれの立派な校

十分な意見交換を交して円満な合意を求めつつ、議長の重責を果たしたい考えであります。

さて、去年は、3校統合による小学校が名実共にスタート、第3期山村振興事業、出羽丘陵、企業誘致の実現、水道の本格的給水、県営圃場整備の完成など本町にとって次の飛躍のための大切な年でもありました。本年はこれに肉をつける年です。まず教育のなかでは、3つの小学校の均衡のとれた環境の整備、中学校給食の実施、町民体育館など社会教育の充実。更に下郷分校の振興は後継者育成の点からも大事であります。

自主・自立の 気概を

議長 長谷山二郎
会議員 長谷山二郎

又、畜産振興のためスタートした出羽丘陵事業も3年目に入りま

す。幹線道路の用地解決など町民の積極的協力を得て、事業年度を短縮するぐらゐの意気込みで早期完成を目指したいものです。

秋田信英の順調な操業は、この上ない喜びです。若年層のUターンや学卒の町内定着など、大いに期待するところ。併せて既存の各企業へのテコ入れを図り、町民の働く場づくりの努力を重ねます。

去年は米もタバコも豊作でしたが、更に天候に左右されない実力をつけねばなりません。

給食実施と高瀬小学校の水泳プールの建設のため、町当局と協議を重ねて、ぜひ実現したいものと念願しております。財政事情の苦しい時ではありますが、児童生徒の

新年を迎えて

教育委員長 佐藤松之助

体位の向上伸長のための教育的温情により、必ず実現するものと期待し確信しておるところです。

学校教育においては、各校ともそれぞれ新教育課程の正しい具体化のため、子どもたちの実態と各地域の実情に即して、いろいろと

ともすれば二の次になりがちの農業ですが、何んとしても、米は我が町の基幹産業だという誇りが欲しいものです。

今、町に新しく二つの計画がスタートしようとしています。「過疎地域振興計画」、「長期総合計画」です。わが町の将来のあるべき姿、そのために何をやらなければならないかを計画をたてて、町の発展のよりどころにしようというものです。

こうしてすぎ去りし年を反省し、更に将来にむけて、鋭意検討を進めているところです。それにしては町民の理解と協力、即ち「参加」がなければ町の発展はありません。

自主自立、進取の気概を期待してごあいさついたします。



創意工夫をこらし、着実に成果をあげておられます。子どもたちの教科学習は勿論のこと、体育や運動その他の分野で立派な成績をあげておられます。へき地の小規模校といえども、平坦地の大規模校に比して、決してひけをとらないということを実証しておるものであり、子どもたちに大きな自信と誇りをもたせております。これは先生方の熱心なご指導ご努力の賜であり、PTAの方々の強力な温かいご協力のおかげであり、衷心から敬意と感謝を申しあげます。

今後も尚一層のご努力により、成果を発揮されますことをお願い申し上げます。皆さんも長い目で見守ってください。

乳牛は、童話の世界に出てくるようなペットとしてのイメージが強いのでしょうか。しかし歴史をさかのぼってみますと、牛はペットどころか、「新技術」だったことがわかります。

牛に引かせたすきによる耕作は、紀元前3,000年ごろ、メソポタミア(現在のイラクを中心とした地域)やエジプトで「発明」されていたそうです。

この新技術は、くわによる耕作に比べ、はるかに広い田畑を深く掘り返すことができ、農業の生産力に革命的な進歩をもたらしたということです。

その後、農業のほか、交通や運搬にも牛が用いられるようになりましたが、これは、人間が自分の肉体以外の力を動力に利用した最初の試みの一つだとされています。そして、17、18世紀になって蒸気機関が発明・実用化されるまで、牛をしのぐ技術上の進歩は見られないといえますから、いかに長い間、牛が新技術として「君臨」してきたかがわかります。

さて、今年の丑年、モウ烈に生きるもよし、のんびりと人生を反芻しながら生きるもよし、ともかくも角つき合わずに仲よくいきたいものです。

(参考資料・平凡社世界大百科事典)

国際青年スローガン

見つめよう未来。

過疎、出稼ぎ、後継者不足等、古くて新しい問題を抱えながらも、着実に歩を進め、新しい町づくりに向かって新年を迎えた「農村東由利」

ここに生きる青年が、これからの町づくりをどう考えているのか、そして自らが魅力ある町づくりのために何をしようとしているのか、今年の「国際青年年」にもちなんで、若者の立場からみた「あすの町づくり」について、町内6青年のかたにお集りをいただき、お話をうかがってみました。



司会 みなさんにはお忙しいところお集りをいただき、ありがとうございます。

今日は「あすの町づくりを考えよう」というテーマで、若者から見たこれからの町づくりについて、きたんのないご意見をお聞かせ願いたいと思います。

まず始めに、話し合いの方向づけとして町長からあいさつの方をお話をいただきます。

町長 今日は、町内の各地区、各層の方々にお集りをいただき、新春座談会という形でこの会をも

つたしだいで、若い人たちの情熱、夢、理想について語り合ってほしいと思います。

私が常に思っていることは、若い者が魅力を感じない町の発展は

魅力ある町づくりは 自らの努力が大切

司会 それではさっそく、自己紹介を兼ねまして、魅力ある町づくりのために若者は何をなすべきかということについて、ご意見を伺いたいと思います。大庭さんからお願います。

大庭 舟木の大庭です。高校を出てから2年ほど農業をやり、出稼ぎを経験しました。しかし出稼ぎは何となく自分を貧しく感じさせたことから、若いうちに何か別のことをと思い、7年ほど本荘で働きました。30歳にならないうちに家業である酪農を継がなくてはと思い、家に戻ってから4年にな

考えられないということで、新しい町づくりは、若者が定住できるような魅力のあるものにしなければならぬということです。

そうした私の考えの一環として、若い人が意欲を持って働ける場としての企業の誘致が実現しました。今後も規模の拡大により多くの若者の就労が可能となり、若者が増加することで、農業青年や商工青年にも活気が出てくるだろうし、真の魅力も生まれてくるものと考えています。

こうしたことを含めて、これから自分たちの町をどのように築き上げていくかということ若い人の立場で、どんな形でも結構ですので遠慮なく意見を言ってもらいたいと思います。

ります。現在は酪農ひとすじで、どうかこうにか一人立ちできるメドがついたことから、畜舎を増築中で、増々意欲を燃やしているところなんです。こうした自分の経験から、魅力ある町づくりのために、自らが真剣に仕事にうち込み、努力することも大切なことだと思います。そうすることによって自分自身も魅力を感じることができると、他からみても魅力的に見えるのではないのでしょうか。

岩井 蔵新田の岩井です。本荘の寿司屋で7年ほど働き、大きな不安をいだきながら地元に出

新春 青年座談会

始めよう、

テーマ・ **あすの町づくりを考える**

出席者

- 大庭喜一郎さん
(農業・舟木)
- 岩井 克己さん
(飲食業・蔵新田)
- 畑山 慶子さん
(家事手伝・家の下)
- 小野 孝悦さん
(団体職員・新町)
- 佐藤 範男さん
(会社員・黒淵)
- 遠藤まさ子さん
(美容師・野田)
- 畠山亮二郎 (町長)
- 佐藤文十郎
(町役場総務課長)



してから6年になります。私も大庭さんと同じで、まず自分の仕事をまっとうすることが最も大切なことだと思います。現在は店を改築したため借金に追われていますが、お客さんに魅力を持つてもらうよう努力することが大事だと思っています。

司会 岩井さんの場合は、商売を通して魅力ある町づくりをしていることになるわけですね。

畑山 家の下の畑山です。たいした経歴はもちません。都会的な目から見ると、はつきり言って東田利町は過疎だし、遊ぶところもないし、そういう面での魅力というものはな

つくるものでなく自分がつくるものだと思うのです。
小野 新町の小野です。農協に入って7年になります。

先ほどから自分の仕事に一生懸命うち込んで話をされていますが、私の場合は生活のために金を稼ぐといった実感が乏しく、もっぱら青年会活動に情熱を注いできたような気がします。これまで魅力とかと言うことは考えたことがありませんでしたが、結局は青年会活動の中で魅力を感じていたように思います。ですから、魅力ある町づくりのためには、若者の一体となった活動も大事なことで、今考えています。

遠藤 野田の遠藤です。今年大内町から嫁いで来ました。魅力と言う言葉に引かかりますけど、一番生活に身近な職業が自分に合っていること、しかも遠くに行かなくても働ける職場があることも魅力ではないでしょうか。その点私は本荘へ働きに出ていますし、いまは魅力に欠けますけど……

佐藤 黒淵の佐藤です。実業高校を出て埼玉の自動車会社で5年ほど勤め、Uターンしましたが働く場所がなく本荘へ通っていました。現在は秋田信英に勤めています。私たち若い者にできる魅力ある町づくりのひとつとして、これからの社会の担い手であるという認識のもとに、お年寄りや年輩の方たちに新しい風を吹き込むことも必要なことだと思います。そして若い人が町に残れるような、住みやすい雰囲気づくりをすること
(6ページへ続く)

(5ページから続く)

も必要なことではないでしょうか。
町長 自分の仕事に重点をおいた意見が多く、これからの町づくりにふさわしい意見だと、喜んで聞いていました。また、若い人は新しい風を吹き込んでいかなければ

中核農家の育成を 農政の基本課題に

司会 東由利町は農村ですが、

農業だけでなく様々な産業が混在する中で、「農村東由利」はこれからどうあるべきかという点についてお話しを伺ってみたいと思います。大変むずかしい問題ですが、小野さんいかがでしょうか。

小野 兼業農家が大半を占め、農業だけでは成り立たないということから、「農工一体の町づくり」を進めているわけですが、やはり東由利の純朴さというものを残していくために、農業というものを大事にし、専業農家の規模の拡大と併せて、兼業農家への指導、育成もしていくべきではないでしょうか。



小野さん

佐藤 減反政策が始まったところ

ばならないという意見も、全くそのとおりで、旧来の考え方だけでは新しい町づくりはできないと思います。そして行政の施策も必要であるが、自らの努力もそれ以上に大切だということを改めて感じました。

は、農家がだんだん減り、専業農家が増えてくるのではないかと思

っていました。やはり自分の土



佐藤さん

地を手ばなすことができないということや、他に仕事がないということもあって、依然として兼業農家が多いようです。

大庭 農業は魅力のないものに

され、極端な例では食糧の国内供給否定論まで出ている現状ですが、食糧の自給は国の繁栄に必要な不可欠なものであって、基本としなければならぬと思います。しかし本町の現状では6町歩くらいの規模がなければ農業は成り立たないとされています。これは米を主体にしているためで、土地条件の良否にかかわらず無理に作付けして



大庭さん

いることも原因と思われます。条件に見合った耕地の利用、集団作付け等に行政がもっとテコ入れしていくことが今後の課題ではないかと思っています。

農村の特権を利用した 老人対策を

司会 さて話題を変えてまして、

ご承知のように、本町でも若い人の流出もあり、県平均よりも高い率で高齢化が進んでいます。こうした状況を若い人がどう考え、またどう対応していったらいいと思うか、ご意見をお聞かせ願いたいと思います。

畑山 年齢的に高齢者といつて

も、現役同様の方は多いはずですが、わたしたちは単に年齢的という目で見ているのではないのでしょうか。

佐藤 それは確かにあると思います。しかし、お年寄りのそうした願望を誰も聞いてやらなければいつまでたっても何もすることができないし、ボケ症になってしまふということもあると思います。ですから、お年寄りの意見を聞くための話し合いの場をもっと設

町長 話しが農業に向いてしまふようですが、やはり「農村東由利」は農業を中心に考え、進めなければならぬというみなさんの考え方だと思います。私も同感で、やはり、わが町の産業の基幹をなすものは林業を含めた農業であり、これら中核農家の育成を農政の基本的課題として進めなければならぬと考えています。そのためには後継者を育てることがもつぱらの課題であり、これらについては現在真剣に取り組んでいる状況です。



畑山さん

け、いっしょになって物事を進めていくことが、生きがいにもつながり、明るい町づくりにつながると思います。

遠藤 最近「老人ボケ」という言葉をよく耳にしますが、こうした病気の中には、嫁さんをもらったことで、嫁さんが何から何まで家事をやってしまい、何もすることのなくなった姑さんが、だんだん老人ボケになってしまった例も



今年は

国際青年年

未来を築く——それはいつの時代も青年の役割です。

家庭、地域社会、国際社会など青年を取り巻く「社会」はさまざまですが、青年が自らの意志、判断、活動によって積極的に社会参加を進めていくことが求められています。

昭和60年は国連の定めた国際青年年。

「参加・開発・平和」というテーマのもとに青年が社会参加をどのように進め、また自分たちに与えられた課題にどのような取り組みむべきか——国際青年年への青年の主体的、積極的な参加が期待されています。

なぜ国際青年年なのか

世界には、食糧をはじめエネルギー、人口などの問題が存在する一方、世界の青年人口は1975年から2000年までに、7億3千8百万人から11億8千万人に増加すると推定され、こうした青年人口の増加が、経済や社会のさまざまな面で青年に影響を及ぼすものと考えられています。

これらの問題の解決は、将来

あるそうです。ですから、嫁さんに来た人また、もらった家で、それぞれの役割を決め、何らかの責任を持った仕事をすることも必要なことだと思ひます。



遠藤さん

大庭 老人といつても働ける人が多勢いるのが実状ですから、働くという観点から老人対策というものを考えてみてはどうでしょう。

か。たとえば、減反した耕地に老人が野菜を作付けし、漬け物工場を建ててそれを老人の手で加工するといったことや、全町の老人がまとまって、転作田に小豆を作付けし、農協で出荷するとか……こう

観光面にも力を入れ 若い女性の職場確保も

司会 司会の不手ぎわで、みなさんから十分な意見を引き出せないうちに時間がなくなつてしまいました。この機会に、行政に対する期待、望むことを伺ひたいと思ひます。

大庭 兼業農家が増えるにつれ、共同作業が日曜日に限定されるなど、自治会の活動が困難になりつつあるので、自治会活動の中核と

いうことは農村だからできることで、多少の収入にもなり、健康にもよく、生きがいにもなると思ひます。

岩井 いまの意見はすばらしいと思ひます。今わが町は野菜等の自給が少ないと聞いています。こうしたことは老人がやる以前のこともかも知れませんが、老人が作ることによつて私たちが安く買うことも可能だと思ひますし、特に私たちみたいな飲食業に安い値段で卸してもらえればありがたいことだと思ひます。そうした面では老人が手本を見せるということもすばらしいことではないでしょうか。



岩井さん

もなる専業農家の育成に力を入れてもらいたいことと、併せて農政全般に十分力を注いでくださることをお願いしたいと思ひます。

小野 前年は青年会の「ふるさと祭り」等に多大な援助を頂きほんとうにありがたいございました。私たちもできるかぎり自分たちの力で事業を進めたいと思ひていますが、人集めをするにはどうして



畠山町長

もお金がかかりますので、今後共援助の方よろしく願ひします。

岩井 蔵バイパスができて、蔵地内の商売をやつている人たちは少なからず影響がでています。

それはしかたがないことと思ひますが、スキー場みたいに他町村から人を呼ぶことのできる、いわゆる観光的な面にも力を入れてもらえれば、私たち商業もよくなると思ひます。是非期待したいと思ひます。

佐藤 いま町が何を、どのようなしようとしているのか、一目でわかるような方法で、アピールをお願いしたいと思ひます。

畑山 私自身、ムラにはいい面がたくさんあると思ひます。農村であることも、見方を変えれば一つの魅力になるはずで、それを忘れているんじゃないか、そういうものを芽ばえさせたいと思ひます。

遠藤 若者の定住する町づくりとして誘致企業の進出には大きな期待を持っていますが、若い女性が魅力を持って働ける職場の確保にも力を入れてもらいたいですね。
司会 長時間にわたり、いろいろなご意見ありがとうございました。まだまだ意見をお聞きしたい



司会・佐藤総務課長

ところですが、一応これで今日の座談会を終えたいと思ひます。最後に町長から一言願ひします。

町長 ただちに行政に取り入れられるような意見がたくさんありました。また、みなさんが仕事や青年会活動に一生懸命努力されていること等も、心を熱くして聞いておりました。

若い人が、魅力を感じながら「ふるさと東由利」に定着、定住するという町づくりをまた、みなさんの夢、希望にに応えるような行政を、みなさんの力を借りて進めていきたいと思ひます。

今日はどうもありがとうございました。



を担う若さと行動力あふれる青年に期待するところが多く、国連が「国際青年年」を設定した背景には、青年の果たすこうした役割の重要性を世界の人々に理解してもらい、また、青年自身に理解と自覚を促すことにあります。

推進方法は

国、地方公共団体および民間関係団体では、連携をとりつつ、青年の社会への参加や理解を求めながら、次のとおり国際青年年事業を推進していく予定です。

青年への期待

▼青年一人ひとりが、自分を取り巻く身近な問題から、地域、国、国際レベルの課題にまで目を向け、行動すること。

▼青年自らの理解と参加によつて国際青年年を盛り上げ、青年の社会参加、国際社会への協力などをさらに幅広く活発に行うこと。

社会の役割

▼社会の多くの人々が、国際青年年の意義を理解し、社会の中で青年の果たす役割の重要性を認め、青年の行う活動に支援、協力すること。

▼国、地方公共団体および民間関係団体も青年の自主的な活動に援助を行い、その活動が社会の評価と支援を受けられるように努めること。

第11回町議会定例会



給与改正に伴う補正 予算などを可決

第11回町議会定例会は、12月21日に招集され、会期を4日間と決めたあと町長が行政報告をし、続いて7議員から一般質問が行われました。このあと、町道の路線変更、過疎地域振興計画策定など報告1件、議案4件をいずれも承認。さらに59年度一般会計など4補正予算案を上程、提案理由を説明して散会しました。

最終日の24日には、第1日目に引き続き補正予算を審議し可決。続いて総務財政委員長が付託事件の審査結果を報告のあと、陳情3件、要望2件を各常任委員会へ付託し閉会しました。

初日に行われた一般質問では、畑山(補)議員が水稲関係等5項目、遠藤(忠)議員が地場産業の振興等4項目、畠山(作)議員が未改良道路と冬期通学路の確保等2項目、長沼議員が街灯料金の町負担等3項目、小松(鏡)議員が畜産振興に関して等6項目、畠山(澤)議員が教育問題について等2項目、小野(豊)議員が国道107号線の改良促進等4項目について質問、町長がそれぞれ答弁をしました。

質問の内容、答弁については、町議会が後日発行する「議会だより」をご覧ください。

可決案件(概要)

今議会で可決された主なことがらは次のとおりです。

▼専決処分の報告(本荘由利広域市町村圏組合規約の一部改正)

本荘、由利地区の広域圏施設として、福祉授産所の設置や、広域交流センターを設置するために、規約の一部を改正したもの。

▼町道の路線変更について

町道十二の前線・大森町矢走部落間を林道矢走線として認定し、県営林道開設事業により本町分3・25号を整備するために、町道十二の前54の1・深山口間を廃止するもの。

▼昭和59年発生

農地農業用施設災害復旧事業の施行と、同事業経費の賦課徴収を定めることについて

中大平地区ほか9か所の水路及び頭首工、水田の災害復旧工事の施行と、これにかかる経費の賦課徴収を受益地地積割とすることなどを決めた。

▼過疎地域振興計画を策定

60年度・64年度までの「東由利町過疎地域振興計画」を設定した。

総務財政 委員長報告

常任委員会に付託されていた陳情2事件について遠藤(油)総務財政

主な補正予算

一般会計予算では121,388千円が追加され、歳入歳出額がそれぞれ2,431,634千円となった。

主な内訳は次のとおり。

- ▶一般職員の人事院勧告に伴う給与改正に11,700千円。
- ▶旧住吉小学校解体工事関係に1,150千円。
- ▶土場沢線(スキー場入口付近)局部改良工事関係に1,935千円。
- ▶災害復旧工事関係費として、148,424千円。

国民健康保険事業勘定特別会計では、高額療養費及び老人医療費拠出金の減額等により14,284千円が減額され、歳入歳出額がそれぞれ397,335千円となった。

簡易水道事業特別会計では、工事費の増額経費9,043千円が追加され、歳入歳出額がそれぞれ357,982千円となった。

臨時教育審議会からの

あなたの声を…… お願い

臨時教育審議会では、昭和59年9月5日の第1回総会以来、わが国の教育の在り方について審議を進めていますが、審議にあたって広く国民の皆様のご意見、ご要望を十分お聞きしたいと考えています。個人、団体を問わず、教育改革に関するご意見などをお寄せくださるようお願いいたします。

お寄せいただいたご意見などは、今後の審議に活用させていただきます。

あて先

〒100 東京都千代田区永田町1-6-1
臨時教育審議会事務局

委員長が、株式会社トーホク

取締役畠山俊郎)の、老方小学校跡地利用を要望した「廃校後の学校跡地利用認可の件」を不採託に、全動労秋田地方労働組合(執行委員長藤本金治)の「国鉄解体の分割・民営化等に関する陳情」を継続審査とすることを報告しました。

行政報告

今議会定例会における町長の
行政報告の概要は次のとおり

稲作の作況

▼12月7日現在の政府売渡米数量は84、531俵で、限度数量より7、762俵の増。これに他用途利用米を加えると、前年度より9、200俵の増。一等米比率では88・2割と、非常に良い作柄となった。

葉たばこの収納状況

▼耕作面積35・8割、耕作者106人で、総売上額が1億5千2百29万円余りとなり、昨年に引き続き売上目標を突破した。

肉牛の市場売上げ

▼59年2月以降の売上高は概ね郡平均値となっており、7月には最低を記録。しかし、以後次第に回復上昇しており、安定傾向になっている。

第3期山村振興計画事業

▼6か所の暗渠排水工事をはじめ、森林作業用ブルドーザーの購入など今年度事業が完了、成果を得ている。

東由利農協育苗センター建設

▼補助金の計上、敷地の貸与などを行い、12月20日に完工。

農地・農業用施設災害復旧工事

▼申請した24か所全部に補助金が決定、年度内に全工事を発注予定。
出稼者の状況▼12月15日現在、588人で、今後を見込んでも概ね600人前後と推定される。昨年度に比して約100人の減少が確定となった。

建設事業関係▼団体営農道整備事業の大台地区、石高地区の改良舗装、農村基盤総合整備事業の宮

の下線、鳥台線の舗装と高館線の改良工事及び大琴地区暗渠工事、土地改良総合整備事業の宮上地区、法内地区の改良舗装工事、農村総合整備モデル事業の向山線、舟打

場線の改良と松台線、下小屋線、地下の沢線の舗装工事がいずれも予定どおり完了。このほか、細田坂線は9割、榎木沢線は5割また、祝沢線、館合新田線は3割の進捗状況と遅れている。



道路維持工事は、現在まで31か所を終了。新設改良工事は、新設改良5か所、舗装8か所を完了。

県施行の善徳線道路付替工事は40割の進捗状況。

災害復旧工事は、現在5か所を発注、残る58か所は、12月と60年2月の2回にわたり発注予定で、工事が多いため一部については次年度に繰越したい。

県道仁賀保、矢島、館合線は、畑中地区を除いてほぼ予定どおり完了。農道八沢木地区、玉米地区、八塩地区も本年度分が完了。

国道107号線は、横渡、宿間

を宿工区として設定、工事を進めることになっており、現地測量調査が終わり線形計画を策定中。

林道の新設改良として、町道十二の前の大森町矢走部落間を林道矢走線と認定、県営林道開設事業により本町分3・25割を60年度から整備する予定。

工業導入による町民生活基盤の確立

▼秋田信英株に110名を超える採用が決定、こうした第2次産業への就職により町民生活基盤に大きな変化が現われており、出稼者減少にも波及効果が生まれつつある。

高瀬小継続工事

▼体育館の継続工事、外構工事、附帯工事は、予定どおり完工。

東中給食施設及び高瀬小プール建設

▼明年度の実現をめざし、本年度中に調査検討及び、基本設計を行なう予定。

高瀬小スクールバス

▼11月19日から運行。なお運行計画を変更し、新しく野田地区、黒沢地区の児童も利用対象とした。



特別養護老人ホーム

▼県より建設内示と指導をうけ、目下、旧蔵小の解体を終え、土地の造成工事を進めている。建設基本設計については、6設計業者の参加でアイ

デアを募っており、その優秀作により本設計を進める予定。

東由利町過疎地域振興計画

▼60年度から64年度までの計画を樹立。今議会に提案した。



東由利町長期構想計画

▼昭和47年制定の計画は策定見直しの必要があり、昭和70年を目途に、町民

を委員に含めた改正作業を進行中。60年3月には成案を議会に提出したい。

保存林「仁助山」記念碑

▼10月31日に現地2か所への建立が完成。11月24日に除幕式を挙行政した。

大平スキー場

▼12月22日にスキー場開きを挙行政、大平スキー場運営委員会により適切な運営を期していきたい。

なお、明年度以降の新規事業をはじめ、各種継続事業について、国・県・国会議員に対し、あらゆる機会に陳情。きびしい財政事情にもかかわらず、本町の実情を理解いただき、概ね計画どおりに進められるものと考えている。

ねんきん ⑥

給付 2%アップ

年金額の改定は、1年または2年度以上の期間に消費者物価指数が5割を超えて変動したときに改定されることになっています。

57・58年度の物価上昇率は4・4割で、この基準には合いませんが、特例として2割アップの改定が行われることになりました。拠出年金は5月分から、福祉年金は6月分から引き上げられます。福祉年金受給者には「特別証書」を送付していますが、受け取り方がこれまでと少し違いますので注意事項をよく読んで受領してください。

1、拠出制国民年金 (昭和59年5月から)

10年	年金	(月額)	29,792円	→	30,375円
5年	年金	(々)	25,358円	→	25,858円
17年	加入	(々)	37,875円	→	38,625円
障害	年金 (1級)	(々)	58,625円	→	59,775円
々	(2級)	(々)	46,900円	→	47,817円
母子	年金 (母子加算あり)	(々)	61,900円	→	62,817円

2、福祉年金 (昭和59年6月から)

老齢	福祉年金	(月額)	25,100円	→	25,600円
障害	福祉年金 (1級)	(々)	37,700円	→	38,400円
々	(2級)	(々)	25,100円	→	25,600円

まちの話題

尺八の藤丸貞蔵さんに

民謡界最高の栄誉



藤丸さん

ました。

尺八で民謡技能章が贈られたのは全国で3人目。しかも現役としては藤丸さんだけという光栄なものです。

藤丸さんは、15歳で吉田晴風の門下生となり、18歳で琴古流師範免許を取得。その後永年の修業を経られて、昭和39年にNHK秋田放送局専属、次いで昭和41年には民謡の普及活動を目ざして「五里会」の結成に力を尽くされるなど、秋田県における今日の民謡界発展の基盤づくりに大きな役割を果たされてきました。そして、豪壮にして華麗な芸風は、尺八の名演奏家と

本町出身、全国藤丸連合会会元の藤丸貞蔵さん（59歳・秋田市手形西谷地10）に、このほど財団法人日本民謡協会から民謡界最高の栄誉とされる「民謡技能章」が授与されました。

民謡技能章は、演奏技術の奥義を極めたとして贈られるもので、藤丸さんの場合は尺八の演奏技能の素晴らしさが認められ

＝県内電話40万台突破＝

記念電話が
本町にも

安宅東由利電報電話局長から
置時計を受けとる横山さん(左)

さる12月5日、秋田県内の電話の数が40万台を突破しました。

これは、明治40年12月26日、秋田市内に設置された210台の電話からスタートして以来、77年の歴史が積み重ねられたものであり、いまや電話は一家に1台の成熟期に入っています。この日、本町向田の横山富男さんの経営する工場（ジャンプ向田工場）にも、本町1、593台目の新しい電話が開通しました。東由利電報電話局では、このゆかりある電話を40万台達成の記念電話として名をとどめることにし、そのお祝いとして横山さんに置時計をプレゼントしました。

1月26日は

文化財
防火デー

して広く知られ、全国各地に民謡教室を開設、昭和54年には「藤丸会全国連合会」を結成して、日夜その指導に活躍され多数の優れた演奏家を輩出されています。文化遺産である民謡の普及に情熱を傾けてご活躍されていることに町民ともども敬意を表し、今後のご活躍を祈念したいと思います。

インドアカ、
してみませんか

町公民館でスポーツ教室開設

と、「卓球」教室に多くの方が参加されました。

今月は、新しいスポーツとして人気のある「インドアカ」教室を予定しています。「羽根つき」に似た楽しいスポーツで、町公民館では多数の参加を期待しています。

「インドアカ」教室は次によって行われます。

期日 1月23日～25日まで
の3日間
時間 午後7時～8時30分
会場 大琴小学校体育館
指導 町体育指導委員ほか
持物 内スツク、軍手

高校生冬休みの心得

本荘由利地域生徒指導研究推進協議会

禁止していること

- 1、夜間の外出（やむを得ない場合でも午後8時まで）
- 2、外泊（やむを得ない場合でも、双方の保護者の同意が必要）
- 3、成人映画、パチンコ店、喫茶店、ディスコ、ゲームコーナー等への出入り
- 4、バイク（冬季）、自動車の運転
- 5、飲酒、喫煙、薬物乱用

学校の許可が必要なもの

- 1、校外の集会、諸活動への参加
 - 2、アルバイト
 - 3、バイク、自動車の運転免許取得 以上。
- 生徒の健全育成のため、地域みなさんのご指導、ご協力をお願いいたします。

まちの話題

健太郎くん(八塩小)に特選

読書感想文 県コンクール

第29回全国青少年読書感想文秋田県コンクール・小学校高学年の部で、八塩小5年の菅原健太郎くんの作品「魚・貝の図鑑から」が、みごと特選に輝きました。



健太郎くん

これは、魚つりがきつかけとなり、つった魚を解剖するため、に読んだ図鑑の感想や、解剖の結果について書いたもので、同校担任の先生は、「自分の好きな遊びから自然を観察したこと、子どもらしい感覚で書いたことが良かった」と話し、受賞を喜んでいました。

去る12月に行われた第25回秋田県児童生徒美術展で、東由利中の生徒8人が入賞しました。この美術展は、園児から中学生までを対象に、子供たち一人ひとりがもっている良さを発見し、さらに豊かな情操を身につけさせることをねらいとして、県教育委員会、県造形教育研究会、等が共催して行っているものです。

東由利中では、同美術展に各学年から4点ずつ計12点を出品。そのうち、8点が入賞を果すという好成績となったものです。入賞作品は、1月9日から13日まで、秋田市の県立美術館に展示され、来館者の目を楽しま

東中

県児童生徒美術展で 8人が入賞

入賞したみなさんは次のとおりです。

- 《絵画部門》
- 佐藤公一(1年)
- 阿部史子(2年)
- 小松英子(2年)
- 小野円美(3年)
- 鈴木ひとみ(4年)
- 阿部 恵(4年)
- 《デザイン部門》
- 佐々木仁美(2年)
- 《彫塑部門》
- 大沼 信(2年)

(敬称略)

みんなで誓おう

今年の無事故

1年の計は元旦にあり、といわれています。新しい年の始めにあたり、家族みんなで今年の交通安全を誓いましょう。



干ばつうけた 葉たばこ

減量は品質でカバー

昭和59年産の葉たばこの収納が、11月28日から12月5日に行われ、専売公社による検査集計の結果、総売上額が前年度を上回る1億5千2百万円余りとなりました。

しかし、今年度の葉たばこ作付面積は、前年度より2・4%多い35・4%で、売上重量では全体で昨年度より3・02%減の、94・190キロ、10%当りの収量では28%減の266キロとなっており、10%当りの所得金額でも前年度より27・652円少ない430・203円となっています。減収の原因のほとんどは干ばつ

つによるものですが、耕作農家の努力により、品質の面では他に比して良いときれ、60年度に行われる見通しの葉たばこの生産調整での減反率には、あまり影響がないものと、関係者は見ています。

干ばつ被害を心配しながらの検査(横手市の収納所で)



「たすけあい」標語で 修くんが優良賞受賞



修くん

社会福祉法人秋田県共同募金が行った「たすけあい」標語募集で、八塩小6年畠山修くんの応募した標語「たすけあう 住み良い町に 赤い羽根」が、小学生の部で優良賞に輝き、賞状と、記念品が贈られました。応募点数は、小・中学校合わせて1,000点でした。

子ども銀行東北 郵政局長から表彰

大琴小の子ども銀行

大琴小学校で行っている「子ども銀行」が、このほど子ども銀行東北郵政局長から表彰されました。

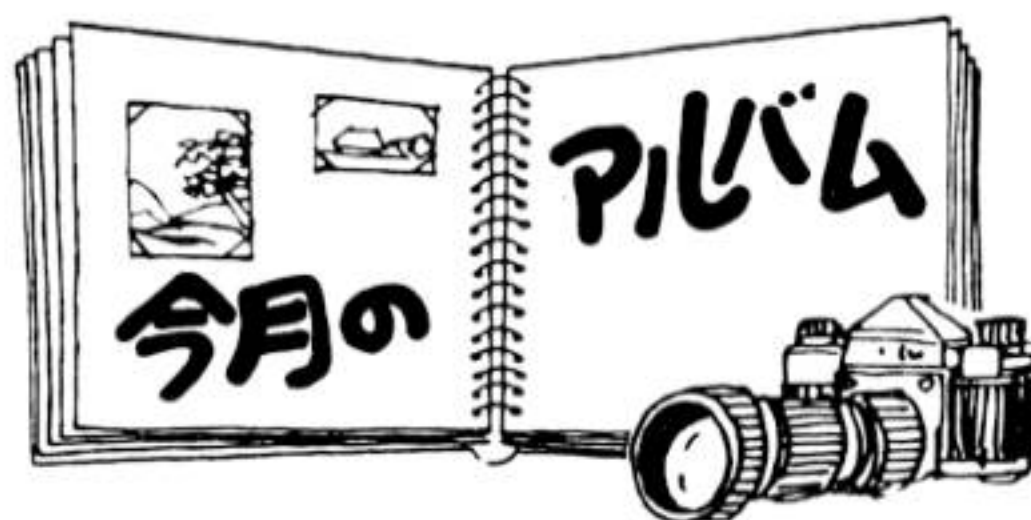
これは、子どもたちが力を合わせ貯蓄に励んだとして表彰されたもので、同校の子どもたちが自分の小遣いを少しずつ貯え、月一回の集金も自分たちの手で行い、声をかけ合ってむだ使いをしないよう呼びかけてきたことが認められたものです。

同校「子ども銀行」の貯金現在高は3百万円を超えているというので、この受賞を機にますます貯蓄意欲を高めてもらいたいものです。

14年目の冬を迎えた東中の寄宿舎……今年度は、遠距離通学をしている57人の生徒たちが、昨年11月から今年3月までの4か月間、寝食をともにした生活を送っています。午前6時に起床、午後9時30分には就寝という規則正しい生活の中で、それぞれが役割を分担。一見固苦しそうにも見えましたが、生徒たちは楽しそうに、のびのびとした団体生活を送っていました。

楽しい

寄宿舎の生活



宿題も、みんなですればこわくない……
「先輩ここ教えて……」



お楽しみの夕食は5時から。早い
ですねー。でも、部屋には夜食用の
カップヌードルもありましたよ。



後かたづけはやっぱり女子の仕事。
花嫁修業にもなりますね。

お正月となるとどうしても新年会やらで、お酒を飲む機会が増え肝臓の方がだいふ疲れている方も多いのではないのでしょうか。

お酒といえば昔から百薬の長といわれ、上手に飲めばこれほど健康的な飲み物もない訳ですが、度を越すと気違い水といわれ、その効用は一転してしまいます。

最近、医学的にもこの事を裏づけるかのように、血中のコレステロールにお酒もその影響力のあることが知られるようになりました。それはどういうことかといえますと、コレステロールに善玉と悪玉があり、お酒を2合以下におさえて飲みますと、善玉コレステロールが増え、逆に2合以上も大量飲酒をしますと悪玉コレステロールが増えるという具合です。何事もほどほどが無難といったところでしょうか。しかしながら、秋田県人に酒飲みの多いのは、全国的にも名高い(？)とされ

お元氣ですか
保健婦です

⑥

お酒と上手につき合っていますか

しているとすれば、皆で上手なお酒の飲み方を考え直してみる必要がありそうです。

ちなみに昨年の7月と8月に実施した循環器検診で血液検査を受けた人の肝機能検査結果を見てみますと、男性の場合異常率の最も高いのが年代別にみて、50代の27・5%、次いで60代の22・7%、40代の21・8%であり、4人に1人近くの方が肝臓に負担をかけている結果となっているのです。

それではここでお酒が百薬の長となりうる条件をいくつかあげてみたいと思います。

第一にほろ酔いを楽しむ習慣をつける。

第二にお酒を飲む時は、何か必ずしゅうしよに食べること。(肝臓を守るためにもたんぱく質を充分に)

第三に強いお酒はうすめて飲む

第四にアルコールの量をふやさないこと。(一日の量を決めて飲むこと)そして1週間に1日2日はお酒をぬく日をつくることも大切。

日頃、お酒を飲み過ぎるキライのある人は、ここでお酒が楽しい人生のお手伝いになるように工夫してみてください。

(保健婦・小松友子)

民話・その9

吹雪に消えた子守りこ



お話しと絵は、石渡力造さんによるものです。

「正月正月どこまで来た くりくり山の下まで
何みやげ せおってきた 松と昆布と ゆずり葉
だいたいくし柿 ほんだわら」

そのまた昔の横渡部落の軒先から、子どもたちの歌声が流れてきます。それまで遊んでいた子どもたちが、「あつとこもれのみこだ。かくれろ」と、逃げてかくれてしまいました。

「つとこもれのみこ」とは、横渡部落の大きな地主さんの家で働いている、みよしという名前の子守りこのことを言うのでした。

1780年代の天明の頃に大凶作が続き、家々のくらしはその後になってもなかなか立ち直ることができませんでした。特に貧ぼう百姓は、口減らしのため自分の娘を金持ちの家へ、子守りことして出してやるのでした。そしてまた、「貧ぼう人の子だくさん」でくらしのできない家では、生まれたばかりの赤んぼうを「つとこ」と呼ばれるものに入れて川に流すというかわいそうなことをしていたのでした。

「つとこもれ」とは、あまりかわいくて、つとこに入れて流すことができなかった子どものことを言い、子守りこのみよしも、こうして育った

ことから、村人から「つとこもれのみこ」と呼ばれているのでした。気立てのやさしいみこは、そんないやがらせをされても少しも気にしませんでした。そして、どんなに泣きわめいている赤んぼうでも、みこにあやされるとすやすやと眠ってしまうのでした。こんなみこを地主さんの家では大変かわいがっていました。

正月が目の前に近づいたある朝のこと、地主さんの家では、夕べから火のような熱を出しぐったりしている赤んぼうのことで大さわぎをしていました。家の人たちは何とかしてなおしてやりたいと思いがながらも、赤んぼうはいっこうに良くならず衰えるばかりでした。

子どもながらに信心深いみこは、毎朝夜の明けないうち、部落の裏の小高い山に登って四方の神様に手を合わせ、「赤んぼうの命を救ってください。早く元気にしてください」と祈るのでした。

こうして赤んぼうが良くならないまま正月をむかえた朝のことでした。主人は、みこの様子がおかしいと思い、まだうす暗い朝方に外に出かけたみこの後をつけてみることにしました。

大戸をあけ、点々といっているみこの足あとをたどって山の中腹までたどりつくと、突然「あつ」と驚きました。なんと、足あとが急に大きな足あとに変わっているのです。主人は、「まさか、みこの足あとでは」と、夢中でその大きな足あとをたどり頂上にむかいました。

元日のご来光が差しはじめたころ、やっとの思いで頂上の目前までたどりついた主人は、ご来光にむかい両手を合わせ、一心に祈っているみこの美しい姿を見たのでした。山のあい間からそそぐ光が、みこのからだをつつみ、それは神々しい姿に見えるのでした。

そんなみこを見ている主人の目からは熱く、大つぶの涙がこぼれ落ちていました。

「みこ——」と叫びながら、主人は一気に頂上にかけて登ろうとしたそのとき、北風がピューーと粉雪を散らし一寸先も見えない猛吹雪となったのです。しばらくすると吹雪はおさまったのですが、みこの姿も、足あとも見あたりません。ただまっ白な雪が朝の光で美しく輝いているだけでした。

悲しい思いで家に帰った主人は、家中を探しまわりましたがみこの姿はどこにも見あたりません。

しかし、赤んぼうはそれ以来快方にむかい、すっかり元気を取りもどしました。

みこがいなくなってから主人は、これまでの不思議な出来事を思い出し、「みよしという名はきつと太平山の三吉さまからとったものに違いない、みこはその化身だったのたろう」と、その春、山の頂上にお堂を建てお祭りをしました。

今も、「子育ての守り神さま」として、弥助さんという人の家が祭主になってお祭りが続けられています。とっぴんからりの山椒の実



みんなのひろば

ふるさとの味 ⑥



佐藤歌子さん
田代

正月や、ひな祭りの行事にかかせない「ゆべし」を紹介します。

ゆべし

材料と分量 (うず巻3本分)

- 《白ゆべし》もち米の粉7[㍥]、小麦粉1[㍥]、白砂糖450[㍥]、塩小さじ4[㍥]、水2[㍥]
- 《小豆ゆべし》小豆あん2[㍥]、うるち米の粉1・5[㍥]、もち米粉[㍥]、小麦粉大さじ3[㍥]、ザラメ200[㍥]、白砂糖120[㍥]、塩大さじ1[㍥]、《砂糖水》白砂糖1[㍥]、水1[㍥]
- 作り方
- (1) 白ゆべしの分量のもち米の粉、小麦粉、白砂糖、塩をよく混ぜる。
 - (2) (1)に水を入れて、まんべんなく混ぜてから、よくこねる。
 - (3) 湯気の上がつた蒸し器にさらし布を敷き、材料を入れて30〜40分蒸す。(20分ぐらいたったら1回はしで割りほぐす。)
 - (4) 蒸し上がったたらボールに取り砂糖水を入れすりこぎでつぶす。
 - (5) 少しさめたら手でよくこねる。
 - (6) 小豆ゆべしも同様に材料を混ぜて蒸し、よくこねる。(水不要)
 - (7) これをまな板の上に置き3等分し、白ゆべしを下に薄くのばし、小豆ゆべしも3等分し、白ゆべしよりも前後3[㍥]くらいひかえ、手前から巻いていく。

あけましておめでとう
ございます

1985. 1. 1



新処・遠藤てつこ
(昭和24年生まれ)

今年は「うし年」のんびりいきましょう

うし年生まれの
みなさんから
賀状をいただきました

迎春

新春を迎え皆様の
ご多幸をお祈り申し上げます
昭和六十一年 元旦



須郷
高橋シズ
(昭和12年生まれ)



賀賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます
昭和六十年 元旦



久保
長谷山松蔵
(大正14年生まれ)



われらちびっこ派 ⑥

⑥

ぼくは、ぶんどーぎーのうんでんしゅになりたい。だって、ちからがあつてカッコいいもん。



こまつ よしゆきくん
(たてあいしんでん・6さい)

今月の「ちびっこ」は、みどり保育園「ひまわり組」からの登場です。
テーマ おおきくなったらなにになりたいの

私の赤ちゃん ⑥

「まき」ちゃんの名前は、おとうさんと、おかあさんの名前の頭文字でつくられていて、どちらにも良く似たかわいい赤ちゃんでした。おかあさんと毎日いっしょで、おとうさんが仕事から帰ってくると両手を上げて喜ぶそうです。

「生まれて初めての冬、寒さに負けないで元気に育ってね」と、おかあさんに囁かれていました。



まき
木島真記ちゃん 大台

59・5・24生まれ
清夫さんとマチ子さんの長女

さわやか 君

西村 宗



ふるさとへの 便り

⑦

十二の前身の、遠藤三郎さん
(58歳) からお便りをいただきました。



遠藤 さん

年始めに「平和」を祈る

故郷の皆様、あけましておめで
とうございます。

昨年中はいろいろと御指導、御
協力をいただきまして厚くお礼申
し上げます。昨年にも増して良い
年でありますよう、皆様と共に心
より祈念いたします。

昨年9月に行われました町制施
行10周年の式典には御招待をいた
だきましてありがとうございます。
た。久し振りに知人、友人ともお
会いできました大変有意義な帰郷

となりました。

特に昭和16年の高等小学校以来
の同級生と数十年ぶりにお会い出
きたことで、生きている喜びを存
分に感ずることができました。

私は、毎年正月になると、今年
も「平和」な年でありますように
と念願し、戦争のない年であるこ
とを祈っています。私たち戦争を
経験した者にとっては、あの悲惨
で、醜い争いを二度と起こしては
ならないことを切実に思うからで
あり、「平和」な美しい故郷の姿
をいつも胸にしているからです。
どんな事でも「平和」であれば
こそ私たちの生活が人間らしく営
まれるのであつて、全てのものが
それを前提として成立っていると
思うのです。

太平洋戦争から40年もの年月が
過ぎ、平和な日々が続く日本では
「平和」などと言う人は少なくな
ったように思われてなりません。
少年の頃から戦争に反対し、切
実に平和を願って来た私としては、
せめて年の初めぐらいはそのよう
なことを思ってみたいものです。
故郷の皆様、1985年が平和

で豊かな年でありますよう念願し
つつ筆を置きます。
(遠藤さんのお住い) 東京都練
馬区大泉学園町8-32-24

新春将棋大会

日時 1月3日 午前9時
会場 朋楽荘
会費 千円(中学生以下3
百円)
試合は総平手リーグ戦で、
どなたでも参加できます。
当日参加可。優勝杯あり
主催 東由利町将棋愛好会
会長 小野松雄



小松育子さん
蔵 (23歳)
36・9・24

ヤング レポート

⑧

見るからに健康そうで、からだ
全体から明るさが感じられる女で
した。小松清男さんの長女で、父
母、兄夫婦との5人暮らし。昨年5月に兄が結婚、「そ
ろそろ私も良き伴侶を見つけなくては……」と、兄夫婦
の結婚生活をうらやんでいる育子さんでした。

何かモットーとしていることは……聞き上手になるよ
う努力しています。

町に望むことは……スポーツが好きなので、体育館や
テニスコートなど、早くつくってもらいたいです。

理想の男性は……尊敬できる部分を持っている人。

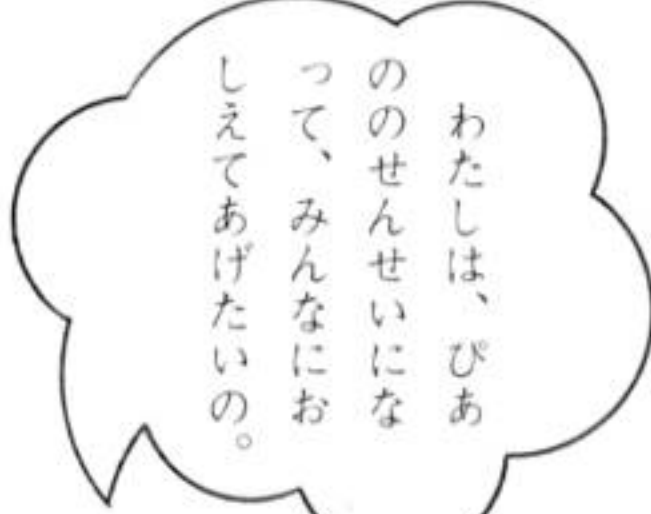
編み物が得意だという育子さんは、現在(株)大沼組に勤
務。社長の大沼さんも、「よく気のきいた女です。育子
さんを嫁さんにもらった人は幸せものですね」と、育
子さんの豊かな人柄をほめていました。

今回は永慶保育園「月組」のちびっこが登場します。



はたけやま まさとくん
(たてあいしんでん・5さい)

ぼくは、すき
ーのせんしゅに
なつて、おりん
びつくにでたい
な。



わたしは、びあ
のせんせいにな
つて、みんなにお
しえてあげたいの。



さとう かずみちゃん
(あわのふち・5さい)

町民の声を町政に！

町長の面会日今月は21日

今月の本だな

▶エリちゃんのはじめての
 ケーキやさん▶カリフォルニア
 のあかねちゃん▶菜の花団
 地のつむじ風▶生物の世界を
 さぐる▶中学生になぜ制服か
 ▶血液型受験突破術▶年賀状
 デザイン集▶二人だけの競奏
 曲▶人間が一番おもしろい
 ▶ああ女たちよ▶女の社会学
 男の家庭学▶日本的なビジネス
 ▶疑惑の仮面・上下▶広報
 室沈黙▶大潟村新農村事情
 ▶道への路▶昭和の歴史・5
 ▶歴史の群像▶写真集シルク
 ロード▶土門拳全集・9

NHK 民謡コンクール
 出場者募集
 NHK秋田放送局では「N
 HK東北民謡コンクール秋田
 県大会」の出場者を募集して
 います。
 部門 新人部門（15歳
 以上25歳未満）大賞部門（25
 歳以上）
 出場申込 はがきに住所、
 氏名、年齢（生年月日）を書
 いてNHK秋田放送局民謡コ
 ンクール係に2月2日（土）まで
 予選会 2月16日（土）
 出場は無料です。詳しくは

本荘准看護学院では次によ
 り、入学生を募集しています。
 募集人員 30名
 修業期間 60年4月～62年
 4月までの2年間
 応募資格 (1)中学卒以上(卒
 業見込み含む)又は同等以上
 の学力のあるもの。(2)心身共
 に健全で将来准看護婦(士)と
 なるに適するもの。

本荘准看護学院 入学生 募集

東北民謡コンクール係にお問
 い合わせください。
 0188(23)5411 NHK

今月の行事

4日・仕事始め
 6日・消防出初式（高瀬小）
 8日・部落健康相談（大蔵館）
 9日・高齢者と子どものつどい
 （高瀬小）
 11日・部落健康相談（島）
 18日・60年度水田再編対策自治会
 代表者会議（有隣館）
 19日・小・中学校始業式
 23日・スポーツ教室（大琴小）
 29日・ナイタースキー教室（大平）

ありがとう

向田の横山マツミさんから東由利
 中学校に雑きん100枚が、また町社
 会福祉協議会に、町商工会青年部から
 ⑤奉仕活動推進費として9,501円、
 中通の小松文一さんから香典返しと
 して金一封が届けられました。あり
 がとうございました。

読書感想文 募集

本荘市立図書館では、読書の
 普及と向上を図るため、本荘市
 ・由利郡民を対象に読書感想文
 を募集しています。
 課題図書 北の河（高井有二）
 ビルマの竖琴（竹山道雄）花埋
 み（渡辺淳一）愛、深き淵より
 （星野富引）本・子ども・絵本
 （中小李枝子）舞姫（森鷗外）
 原稿長さ 4百字詰原稿用紙
 5枚
 原稿〆切 1月31日（木）必着
 結果発表 3月発行「本荘市
 政だより」で発表
 賞状賞品 優秀作、佳作若干
 に賞状と記念品を贈る
 出品希望者は、町公民館で詳
 しいことをお聞きください。

町の統計 12月

●人口（ ）内は前月と比較	（ ）内は1月からの累計
・男 3,064人（△1）	●出生 5人（74）
・女 3,130人（△2）	●死亡 5人（48）
・計 6,194人（△3）	●結婚 2組（24）
●世帯数 1,426世帯（一）	●離婚 0組（5）
●ゴミ処理量----- 23 t（326）	
●火災----- 0件（0）	
●救急車出動回数----- 2件（82）	
●交通事故----- 1件（11）	
●交通死亡事故「0」継続日数 1,629日	
●総合開発センター「有隣館」利用者数 4,511人（19,198）	
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 3,410人（8,951）	

戸籍の窓口

(11/21) 12/20届出・敬称略

うぶ声



高橋由貴子(陽悦・長女)下通
 遠藤信二(正悦・二男)小倉
 小松慧太(忠広・長男)須郷田
 小野美弥子(弥悦郎・三女)上里
 遠藤ひろみ(幸男・二女)館西
 木島由衣(俊浩・長女)宮ノ前
 遠藤麻衣子(久・長女)宿

国籍法 戸籍法が 改正され ました

変更等の改正がな
 されております。
 詳しいことは、法務
 局または町役場住民課にお尋ねください。

おくやみ



太田 キワ(73 兵介・母)蔵
 大日向キミヨ(89 貞弘・母)大琴
 小松勘次郎(69 文一・従兄)中通
 大庭ゆき系(64 昇之助・妻)舟木